

# プライマリーケアのアナフィラキシー処置

ABC

## First&Fast

- ・スタッフ / ☎119Call⇒救急カート
- ・仰臥位 / 気道確保 / 下肢挙上

## 緊急薬

- 0.01/ml/kg/1回 (5~15分で反復可/大腿部中央前外側)  
(上限: 乳児0.1ml/1回、幼児0.15ml/1回、学童0.3ml/1回)
- ・アドレナリン注<sup>®</sup> ボスミン注<sup>®</sup> (0.1%エピネフリン) 筋注

## 酸素

- ・SpO<sub>2</sub>チェック / 酸素投与 (6~8 l /分)

## 静脈確保

- ・生食輸液 / ソリタT1<sup>®</sup>
- ・ハイドロコーチゾン(ソル・コーテフ<sup>®</sup> or サクシゾン<sup>®</sup>)  
5~10mg/kg点滴静注

## 吸入

- ・喘鳴時  
ベネトリン<sup>®</sup> or メプチン<sup>®</sup>  
各0.1~0.3mlを生食2ml or インタール1Aとともに吸入

### 【注意事項】

- 静脈確保に時間をかけない。  
アドレナリン注<sup>®</sup>、ボスミン<sup>®</sup>(0.1%エピネフリン)の投与、反復投与が遅れてはならない
- 呼吸停止時などCPR (心肺蘇生) 介入

参考文献: 日本アレルギー学会 アナフィラキシーガイドライン

### 【緊急機関の☎番号】

- 救急医療機関 : 1 : \_\_\_\_\_  
2 : \_\_\_\_\_  
3 : \_\_\_\_\_
- 医 師 会 : \_\_\_\_\_  
■ 保 健 所 : \_\_\_\_\_  
■ 警 察 署 : \_\_\_\_\_  
■ 消 防 署 : \_\_\_\_\_

# 意識レベル評価法

■ JCS (Japan Coma Scale 3-3-9度方式)		■ 乳幼児 JCS (3-3-9度方式)	
I 刺激なしでも覚醒			
1	ほぼ意識清明だが、今一つはっきりしない	1	あやすと笑うがしっかり声を出して笑わない
2	見当識障害あり	2	あやしても笑わないが、視線は合う
3	名前・生年月日が言えない	3	母親と視線が合わない
II 刺激すれば覚醒			
10	普通の呼びかけで容易に開眼	10	飲み物を見せると飲もうとする
20	大声、体のゆさぶりで開眼	20	呼びかけると開眼して目を向ける
30	痛み刺激でかろうじて開眼	30	呼びかけを繰り返すとかろうじて開眼する
III 刺激しても覚醒しない			
100	痛み刺激をはらいのける	100	痛み刺激にはらいのけるような動作をする
200	痛み刺激で手足を動かす、顔をしかめる	200	痛み刺激で少し手足を動かしたり顔をしかめる
300	痛み刺激に反応しない	300	痛み刺激に反応しない

■ Glasgow Coma Scale (Total score : good : 15 ~ 3 : poor)				
EVM	score	成人	小児	乳児
開眼 (Eye)	4	自発的に開眼	⇒	⇒
	3	呼びかけに応じて開眼	⇒	⇒
	2	痛みに応じて開眼	⇒	⇒
	1	なし	⇒	⇒
言語反応 (Verbal)	5	見当識のある会話	見当識のある会話、適切	クークーという声と片言話
	4	混乱した会話	⇒	易刺激的、啼泣
	3	不適切な言葉を発する	⇒	痛みに応じて啼泣
	2	理解不能な発声	理解不能な発声または意味のない発声	痛みに応じてうめく
	1	なし	⇒	⇒
運動反応 (Motor)	6	指示に従う	⇒	自発的に目的を持って動く
	5	部位を示す	痛み刺激の部位に手足を持ってくる	触れると逃避する
	4	逃避	痛みに応じて逃避する	⇒
	3	四肢異常屈曲	痛みに応じて四肢を屈曲する	痛みに応じて除皮質姿勢をとる (四肢異常屈曲)
	2	伸展反応	痛みに応じて四肢を伸展する	痛みに応じて除脳姿勢をとる (四肢異常伸展)
1	なし	⇒	⇒	

⇒ (同意の意)